

# STOP!! 落下物!! 危険



【事例】:高速道路にはこのような重大事故に繋がる恐れのある危険な落下物も...



## 1. 積荷の落下物を防ぐためには・・・

- 車の運転前に、積荷の積載状況を点検しましょう
- ロープ、シート等を掛けて積荷が飛ばないようにしましょう



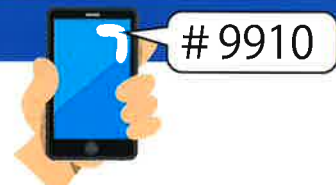
ロープなどでしっかり固定



シートで積荷を覆う

## 2. 落下物を発見したら・・・

- 道路緊急ダイヤル(#9910)、料金所の係員、最寄りのSA・PAの非常電話等で情報提供をお願いします



## 3. 落下物事故に遭わないためには・・・

- 車間距離を十分に確保しましょう
- 制限速度を遵守しましょう



## 4. 落下物事故に遭われた場合は・・・

- 路肩等の安全な場所に避難し、110番または非常電話による通報をお願いします



# マイカー点検 してありますか??

高速道路上での故障内容ワースト3 (令和元年度 西日本高速道パトロール関西(株)調べ)

1位: パンク類 (約49%) 2位: エンジン不良 (約30%) 3位: 燃料切れ・オーバーヒート (約6%)

**チェック!**  **タイヤの亀裂等**

亀裂等の有無


亀裂・損傷の有無や、釘・石・その他異物が刺さったり、かみ込んでいないかを点検してください。



**チェック!**  **タイヤの溝の深さ**


溝の深さが十分にあるかスリップサイン等により点検してください。なお、デプスゲージを使用すると残りの溝の深さがわかります。

例: スリップサイン



**チェック!**  **燃料の量**

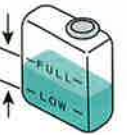
車を運転する前に必ず燃料計で燃料の残量をチェックしてください。




**マイカー点検を確実におこない、安全・安心なドライブを!!**

**チェック!**  **冷却水の量**

リザーバタンク内の冷却水の量が規定の範囲内※にあるかを点検してください。  
(例: ※FULLとLOWの間)



**チェック!**  **ブレーキ液の量**

リザーバタンク内の液量が規定の範囲内※にあるかを点検してください。  
(例: ※MAXとMINIの間)



**チェック!**  **バッテリー液の量**

バッテリー内の液量が規定の範囲内※にあるかを点検してください。  
(例: ※UPPERとLOWERの間)



**チェック!**  **エンジンオイルの量**

オイル量がレベルゲージの規定の範囲内※にあるかを点検してください。  
(例: ※HとLの間)



## 高速道路を運転中に故障等で運転できなくなった時は

### 1 ハザードランプを点けて路肩へ

トラブルが発生したら、できるだけ路肩に寄せる。路肩がなかったり、狭かったりする時は、できるだけ広いところまで自走する。



### 2 発炎筒・停止表示器材を置く

同乗者を避難させてから、発炎筒・停止表示器材を車から50m以上後方に置く。燃料漏れがある場合、発炎筒は使わない。



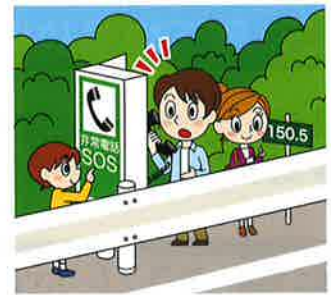
### 3 ガードレールの外側などに避難

同乗者と一緒にガードレールの外側に避難する。橋や高架などで出来ない場合は、車から離れてガードレールに身を寄せる。



### 4 電話で救援依頼をする

非常電話か携帯電話で救援を依頼する。携帯電話の場合、場所が特定できるように路肩にあるキロポストの数字を伝える。



避難して非常電話、道路緊急ダイヤル (#9910) などで故障状況等を通報してください